



樹蔭静けさ

北海道帯広三条高等学校
〒080-2473
北海道帯広市西23条南2丁目12番地
TEL : 0155 (37) 5501
発行日 令和5年9月29日

生徒が工夫を凝らして三条高校をPR～学校説明会

猛暑のため延期していた中学生向け学校説明会を9月21日に実施しました。コロナによる制限がなくなって4年振りの保護者も含めた説明会となり、中学3年生は572名、保護者は234名が来校してくれました。もうすっかり定着した感のある生徒主体の説明会ですが、今回は受付も生徒が担当してくれました。3年次選択科目「自己表現」を選択している生徒たちです。説明するスライドだけではなく、自分たちが学んでいる『自己表現』の取組を紹介する手作りの冊子や、お手製の合格祈願のお守りを中学生たちに配布し、本校を積極的にアピールしていました。

今年度は帯広市内と市外の2つのグループに分け会場を別しました。学校説明のプレゼンテーションは、三条高校の魅力を高校生目線で中学生に伝えることを心がけ、クイズ形式を取り入れるなどの工夫を凝らしていました。

その後、自由参加の部活動体験が行われました。残念ながら、体験の直前に激しい雨が降り、屋外での活動はできませんでしたが、三条高校の部活動の雰囲気を実感することができたものと思います。

ここでアンケートから中学生の感想をいくつか紹介します。

- ・三条高校の明るい校風を感じることができ、充実した時間を過ごすことが出来ました。ビデオには、個性溢れる、笑顔で楽しそうな三条生さん達が映っていてとてもワクワクしました。
- ・プレゼンテーションも説明もとても分かりやすかった！受付や説明、資料配布の時など、優しく明るい三条の生徒像が見えた！ぜひ通ってみたいです！
- ・最初に行われていた説明がすごい分かりやすく、三条生の一日や一年を知ることが出来て良かったです。
- ・校内ツアーがとても楽しくて、面白かった！

この説明会をきっかけに三条高校を目指してくれる生徒が増えることを期待しています。説明会にあたった3年生の皆さん、ありがとうございました。



節電に努めましょう！

依然として電力価格高騰が続いています。本校では昨年、節電運動「目指せ！マイナス昨年度比10%！」を展開し、大きな成果をあげました。今年も、日が短くなる10月から節電の呼びかけを行っていきます。日頃の細かなスイッチOFFを徹底して節電することが主体ですが、昼間の生徒玄関や廊下・階段は電気を消しています。地球温暖化防止のためにも、できることから始めましょう！ご理解とご協力をお願いします。



自転車事故を防ごう～交通安全講話

残念ながら本校では自転車事故が相次いでいます。日が短くなり気温も下がることから、先を急ぐあまり周囲への不注意だったり、無灯火による危険が増加する季節です。そこで22日に、帯広警察署交通第一課長、堺玄州様をお招きし、全校生徒を対象に交通安全講話を実施しました。

講話で堺課長は、自転車の転倒や車との事故では頭部にダメージを受けることが多いことから、ヘルメット着用を強く勧めていました。また、ドライブレコーダーの実際の映像から、左折車の危険性や後ろから来る車への注意の必要性を強調していました。

「交通安全はなかなか自分のこととして考えることができないものです。自分や周辺の方が事故にあって初めてその重要性に気付くのです」という言葉がありました。そうならないよう交通安全を実践しましょう！



開西病院で医療の仕事体験

9月1日、2年次探究の時間で、「看護・医療、地域支援」類型選択の生徒58人が、開西病院で医療の現場での10種類の仕事について、実際に就いている方から仕事内容や資格取得の方法について説明を受け、それぞれの業務を体験しました。薬剤師志望の生徒は「実際の業務の内容を知って、薬剤師になりたいという気持ちがより強くなりました」と話していました。医療の現場を知ることにより、より現実的な課題意識をもって進路選択ができるようになります。このような貴重な場を提供して下さった開西病院の皆様はこの場をお借りしてお礼申し上げます。

なお、開西病院HPでもこの活動を紹介しております。ぜひご覧ください。（<https://www.hakuaikai.org/news/news-2730.html>）

第31回 3年3組担任 豊田端吾教諭

成功したら生徒のお陰、失敗したら自分の責任

◆実は吹奏楽部出身

中学、高校、大学とずっと吹奏楽部でホルンを吹いていました。吹奏楽の指導をしたくて高校教師になったのですが、なぜかその機会に恵まれませんでした。初任の平取高校では郷土芸能部で和太鼓を指導しましたし、三条に赴任した時は合唱部を任されましたが、合唱については全く何もわかりません。指導法はもちろん、合唱曲も一つとして知りませんでした。加えて私の前任者は教員生活を三条一筋で終え、何度も全国へ導いた伝説的な先生です。生徒たちも本気で全国を目指していましたから、当初はプレッシャーに押しつぶされそうな憂鬱な日々でした。それでもなんとかしなくてはと自分なりに理論を勉強したり、本州まで研修に出向いたりしました。

そんな私に、生徒たちは前の先生はこうだとか、こんな指導は、とか一切口にはしませんでした。本当に生徒に救われました。そうして迎えた初めての大会は旭川でした。結果は言わずもがなです。ダメでした。帰りのバスの中で生徒たちは帯広に着くまでずっと泣いているのです。その時これは俺の責任だ、何とかしなくてははいけなくて強く思ったものです。

◆父の教え

私が教員になる時に小学校の教員であった父から言われ、今も心に刻んでいる言葉があります。「成功したら生徒のお陰、失敗したら自分の責任」というものです。

初めての大会での失敗を繰り返さないように、生徒たちと練習内容を一から考えて、2年目に全道優勝を果たします。さらに全国大会で北海道の高校で初となる金賞を獲得することができました。大変嬉しかったのですが、実はそれで私自身、慢心してしまったのです。これでいいのだと。このままやれば結果はついてくると思ってしまいました。ちょっと天狗

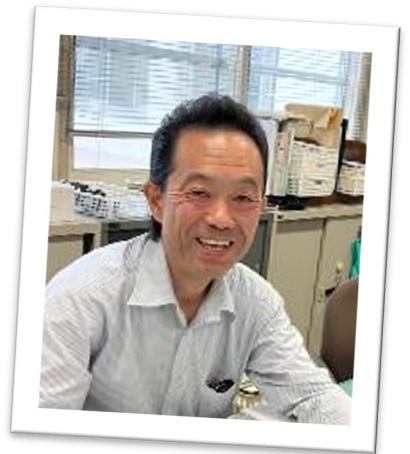
になったのかもしれませんが。結果が出ないことが3年ほど続いて、今度はスパルタ式の指導に切り替えます。当時、そんな吹奏楽強豪校がマスコミで取り上げられることが多かったので、それならば自分もと思ってしまう。それでも結果には結びつきませんでした。

◆大病が転機

そんな時に体調を崩し入院してしまいます。検査で癌とされました。手術してみると癌は検出されずにことなきを得るのですが、その時、私自身も死を意識しました。それを機に人生観が180°変わりました。

退院して学校に戻ったときに、今までとは違う景色が見えました。生徒に対するアプローチが変わったのはそれからです。まず生徒は今どのような状況なのか。それを確認するためにどんな言葉を掛ければいいのか。生徒の成長の次の段階に進むには具体的なアプローチが必要です。どんなにどなりつけても生徒は何をしいのかわかりません。生徒の状況を知り、段階を踏んで具体的に示してあげることが大切です。そうして成長を生徒自身が実感することによってモチベーションがあがるのです。そんなプロセスを生徒と一緒にできること自体が幸せなことだと気付くことができました。合唱部の結果が出始めたのはそれからです。

努力は裏切らないと言いますが、そうじゃないこともあります。その時に、自分がどう進むことができるかが大事です。自分でモチベーションをあげ、諦めずに次に進んでいってほしいと思います。



インタビュー

きらり

第74回北海道合唱コンクール優勝 香川での全国大会出場決定

合唱部 部長 3年1組 佐々木 楓乃 さん

副部長 3年3組 牧野 美咲 さん 3年4組 杉野 華穂 さん



室蘭で行われた北海道合唱コンクールで優勝した合唱部の部長・佐々木さん、副部長の牧野さんと杉野さんに喜びを伺いました。「目標としていた審査員の満場一致での優勝ができたので、本当に嬉しかったです」と声を揃えました。採点競技は審査員の価値観や好みが反映されることが多いので、満場一致ということ

とはそれだけ秀でていたということになります。歴史と伝統のある合唱部に新たな足跡を残してくれました。

三人とも合唱は高校に入学してから始めたのだそうですが、佐々木さんは「もともと合唱は好きでしたが中学に部活動がありませんでしたし、コロナで卒業式の合唱でさえ歌うことができなかったため、合唱をやりたいと三条を選びました」とのこと。一方、牧野さんと杉野さんは入学早々の部活動見学で、先輩が優しく雰囲気がとても良かったので入部を決めたということでした。ここで私からの素朴な質問。「誰でも声って出せるようになるんですか？」すると佐々木さんが「端吾先生の

力がとても大きいのと、歴代の先輩たちから受け継がれてきた練習方法でちゃんと声が出て出るようになります。だいたい8月ぐらいになったら出るようになります」ときっぱり。

次に合唱の魅力を聞きました。三人とも「みんなで作り上げていくこと、聞いてくれる人たちと一体になった時の喜び」をあげてくれましたが、佐々木さんはその中でも言葉を伝えることの大切さを強調していました。「歌詞の内容、つまり一つ一つの言葉をきちんと伝えることがとても大事なため、抑揚や声色を考えながら歌っています。自分たちでより良いものを作り出していくことに楽しさを感じます」とのことでした。牧野さんは合唱をやってよかったこととして「他の部活動ではなかなかできない経験ができましたし、何より先輩、後輩はもちろん先生方や様々な方と関わることが喜びです」と語り、杉野さんも「友達や先生方から私たちへの応援を感じることが多くて、とても有り難かったです。三条高校は本当に多くの方々のサポートがある高校だと感じます」と話してくれました。

最後に後輩たちへのメッセージ。「うまくいかないことや辛いことがあったとしても、そこから逃げずに乗り越えた先に喜びがあります。常に目標を意識して諦めずに頑張ってください」。

全国大会は10月27日、香川県高松市で開催されます。全国でも悔いのない演奏を期待しています！

